


井戸から簡易水道へ

1955（昭和30）年頃までは、六ツ美南部地区ではどこの家でも井戸が使われていた。近くに矢作川などが流れており、豊富な地下水源に恵まれ、比較的容易に井戸水を手に入れることができた。使われる井戸の水汲み様式も「つるべ」から「手押しポンプ」、「手押しポンプ」から「モーターポンプ」へと移り変わっていった。六ツ美南部に「モーターポンプ」の井戸が普及してくると、後屋敷では「どうせ井戸の改善に金を使うなら、共同で井戸水をくみ上げ、水道で水を引いたらどうか」という話が持ち上がった。こうした生活改善への積極的な取り組みが1956（昭和31）年3月、後屋敷に簡易水道を引くきっかけになった。その後、六ツ美南部には3つの簡易水道が布設された。

| 地区 | 開始年月 | 廃止年月 | 使用期間 | 給水人口 |
|-----|---------------|----------------|--------|-------|
| 後屋敷 | 1956(昭和31)年3月 | 1966(昭和41)年12月 | 10年9ヶ月 | 165人 |
| 定国 | 1956(昭和31)年5月 | 1966(昭和41)年12月 | 10年7ヶ月 | 240人 |
| 中島 | 1957(昭和32)年3月 | 1966(昭和41)年12月 | 9年9ヶ月 | 2800人 |

簡易水道とは、深くほった井戸から水をすい上げ、その水を利用してそれぞれの家に送って、使えるようにしたもの。水を出す装置は水道と同じで、蛇口をひねれば水が出る。簡易水道は、住民の希望者で組合を作り、維持管理は組合が行った。

| 仕組 み |  | | | 年、□ 水道歴史 |
|---------|--|-------------|---------------|------------------------|
| | 名 | つるべ井戸 | 手押しポンプ | モーターポンプ |
| 時代 | 明治時代 100年以上前 | 昭和時代 | 現在 | ・1956年5月 定国に簡易水道が通る |
| 扱い方 | ひもを引くと水入りバケツが出る | レバーを押すと水が出る | 水道の蛇口から水が出てくる | ・1957年3月 中島に簡易水道が通る |
| 長所 | 夏は、冷たく冬は、暖かい水 | 電気がなくても◎ | 蛇口をひねるだけで水が出る | ・1966年12月 簡易水道を廃止する |
| 短所 | 使いすぎ× 掃除しない× | 手が疲れる | 電気がないと× | ・1967年4月 各地に水道が通る |

井戸水の利点と欠点

（利点）

- ・夏は冷たく、冬は暖かい水が手に入る。井戸水の水温は1年中ほとんど変わらない。
- ・水道料金がかからず経済的であるが、渇水の時には井戸が枯れることもある。
- ・災害時にも使用できる。
- ・矢作川の伏流水があるため、豊富な水源に恵まれている六ツ美南部では、地下水位が高いので井戸は浅く比較的楽に手に入れることができる。

(欠点)

- ・井戸水は消毒をしていないので、衛生的に問題が生じる場合がある。
- ・台所や風呂を使うとき、井戸水をくんだり、運んだりする労力が必要である。
- ・季節によって水量がことなるので、いつも十分に使うことができない。
- ・井戸水を出す機械（手押しポンプ、モーターポンプ）が故障すると使えなくなる場合がある。
- ・井戸にふたがしてあっても、時にはごみなどが入ることがある。

後屋敷、定国、中島の簡易水道があった場所を示す。後屋敷および定国は公民館のそばに存在している。中島は新町にある個人所有の土地である。



後屋敷簡易水道 後屋敷公民館前
手前電柱の左側 20150918



後屋敷簡易水道 後屋敷公民館前 20150918



定国簡易水道 定国公民館前
画面中央下部 20150918



定国簡易水道 定国公民館前 20150918



中島簡易水道 新町27番地2
画面右側 20170206



中島簡易水道 新町27番地2
画面中央 20170206

昭和20年代に掘られた井戸が後屋敷の鶴田雅節邸に存在した。現在も、庭や隣接する畑に水を供給している。鶴田雅節邸には本件と直接的には関係がないが、江戸末期に建てられた、倉庫と門が存在している。また隣の近江屋にも現在使用している井戸が存在している。



後屋敷 鶴田邸井戸 昭和20年代
20150918



後屋敷 鶴田邸井戸 昭和20年代
20150918



後屋敷 鶴田邸倉庫 江戸末期建立
20150918



後屋敷鶴田邸門 江戸末期建立
20150918



境の近江屋で、現在も使われている井戸 (2008年1月撮影)



本項は以下の資料を引用している。

[わたしたちのふるさと 六ツ南 114 選]

- 監修者 総代会長 平井 良美
社教委員長 近藤 武美
- 著者 岡崎市立六ツ美南部小学校 6 年児童 114 名
(平成 25 年 3 月 19 日卒業)
- 編者 岡崎市立六ツ美南部小学校 6 年担任
権田 康成、加納 隆、坂井 純、榊原 美佐子、山本 佳愛
- 発行日 2013 (平成 25) 年 3 月 1 日 初版発行
- 印刷所 ブラザー印刷株式会社
- 製本 ブラザー印刷株式会社
- 発行 岡崎市立六ツ美南部小学校